

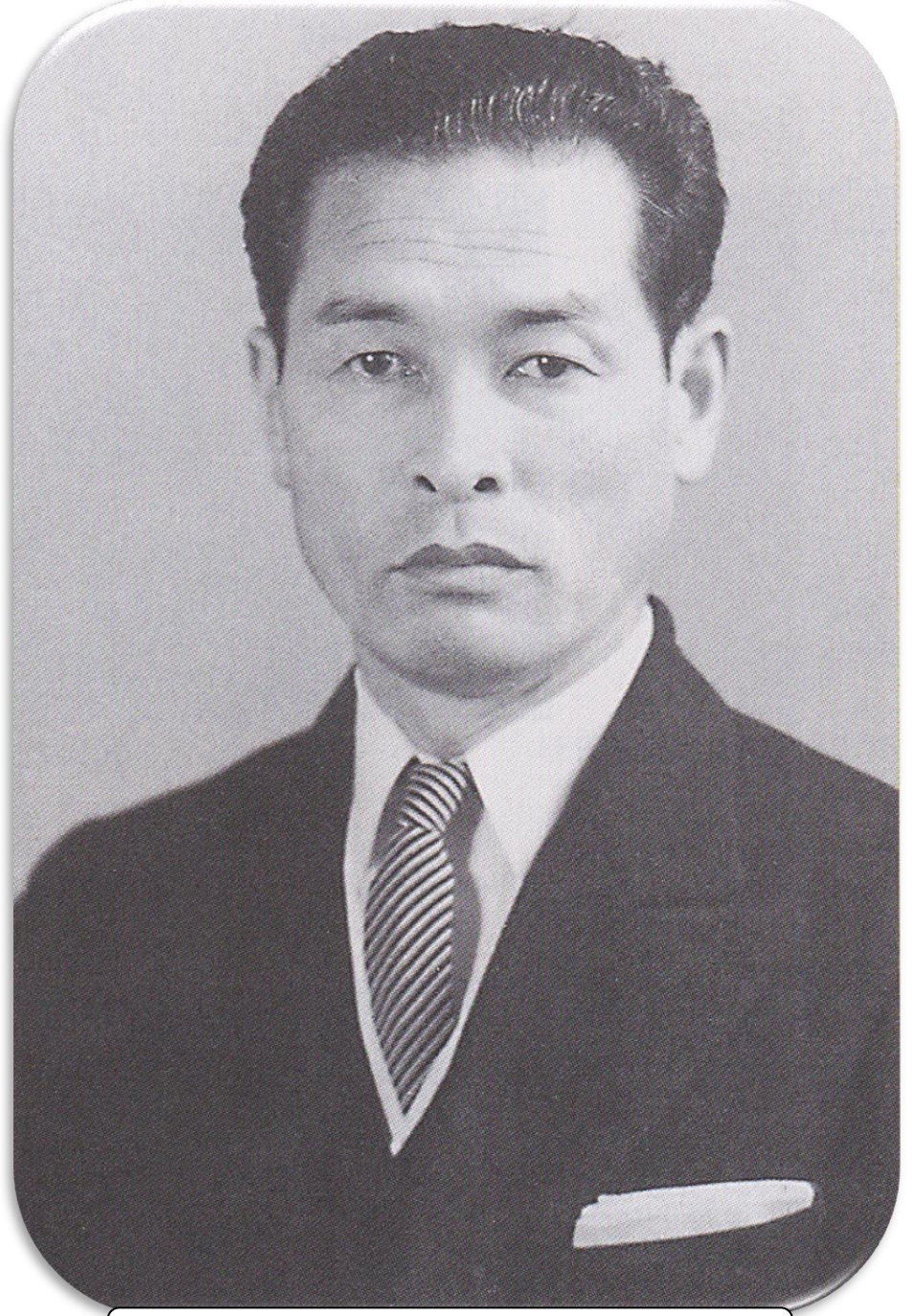
土着性に根ざした教育の実践者

倉田 春木先生

倉田 春木（くらた はるき）先生略歴

- 1917年（大正6） 富士見町落合村に誕生
- 1935年（昭和10） 長野県立長野中学校卒業
中野市立中野尋常高等小学校勤務
- 1938年（昭和13） 長野師範学校卒業
南小川村立南小川尋常小学校勤務
- 1946年（昭和21） 七二会村立七二会中学校勤務
- 1950年（昭和25） 内地留学(法政大学)
- 1952年（昭和27） 南安曇郡梓川村立梓川中学校勤務
- 1956年（昭和31） 上田市立神川中学校勤務
9月 上田市立第一中学校勤務（合併のため）
- 1958年（昭和33） 信州大学教育学部附属長野中学校勤務
- 1960年（昭和35） 長野市立南部中学校勤務(教頭)
- 1964年（昭和39） 長野市教育委員会勤務指導主事
- 1966年（昭和41） 上水内郡小川村立小川中学校校長
- 1970年（昭和45） 長野県教育委員会事務局義務教育課勤務
- 1972年（昭和47） 信州新町立信州新町中学校校長
- 1976年（昭和51） 10月 全日本中学校長会長崎大会に出席
長崎市瀬戸口病院にてご逝去(享年 59歳)

10月22日 信州新町教育委員会葬



『信濃教育』第1476号(平成21年11月)より

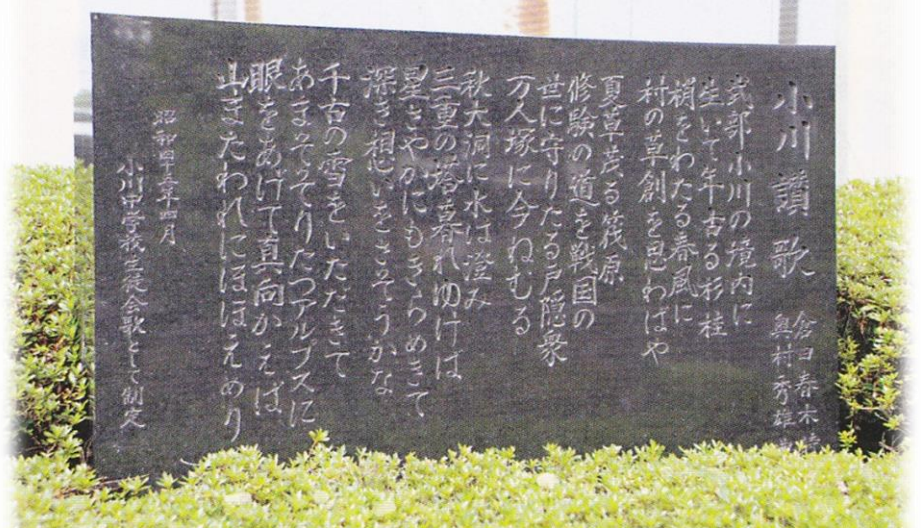
倉田春木先生は、赴任地を生涯の地としてこよなく愛し、地域をくまなく歩き、そこから湧き出る想いをぶつけた教育実践論者であられた。

惜しくも在任中に全日本中学校長会に出席された折、当地でお亡くなりになられた。芭蕉・西田哲学を深く追究された倉田先生のお考えには、校長をされていた学校の『小川賛歌』（小川村立小川中学校）、『哲人碑』（長野市立信州新町中学校）等の石碑を通じて触れることができる。



哲人碑「哲人の如く考え農夫の如く働く」 信州新町中学校

第4代校長であられた倉田先生の教えは、今も信州新町中学校の生徒たちの生活の中に息づいている。ルソー『エミール』の教育論に沿った言葉。



小川賛歌 小川中学校

地域の隅々まで愛された倉田先生の詩によるこの歌は、今も小川村の方々に歌い継がれている。（作曲は元長野市教育長奥村秀雄先生）

参考文献

『信濃教育』

・第1476号(平成21年11月)

・第1542号(平成27年5月)

・第1543号(平成27年6月)

『倉田春木文集』（倉田春木文集刊行会 平成8年9月）